

平成28年度議会活動計画実施状況

実施状況	活動計画	実施状況
<p>【取組内容】</p> <p>(1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～</p> <p>①総合計画 平成28年版「成果レポート」については、予算決算常任委員会及び行政部門別常任委員会で調査を行い、8月9日に知事へ申し入れを行いました。この申し入れについては、ポストサミットのさらなる展開などへ反映されました。また、平成29年度三重県経営方針については、2月15日の全員協議会で議論した結果、「日本の文化聖地」についての記述を反映することができました。</p>	<p>【取組内容】</p> <p>(1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～</p> <p>①総合計画 「みえ県民カビジョン」及び「みえ県民カビジョンの策定並びに同行動計画の「成果レポート」の作成に合わせ、調査・審査を行い、知事への申し入れを行います。</p>	<p>②当初予算 当初予算については、予算総括質疑を行うなど、予算決算常任委員会を中心に慎重に審査を行い、3月21日に議決しました。なお、他会計からの繰り入れや職員給与の減額措置などについては、さまざまな議論がありました。</p>
<p>②当初予算 当初予算については、予算総括質疑を行うなど、予算決算常任委員会を中心に慎重に審査を行い、3月21日に議決しました。なお、他会計からの繰り入れや職員給与の減額措置などについては、さまざまな議論がありました。</p>	<p>②当初予算 「当初予算」については、毎年度、予算決算常任委員会を中心に調査・審査を行います。</p>	<p>③個別の行政計画 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画 「第2次三重県男女共同参画基本計画」</p>
<p>③個別の行政計画 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画 「第2次三重県男女共同参画基本計画」</p>	<p>③個別の行政計画 個別の行政計画については、改訂時期を見据え、基本的には所管の常任委員会で調査・審査を行います。</p>	<p>④特に調査・検討を要する重要課題 ・「子どもの貧困対策調査特別委員会」を平成28年5月16日に設置して、県内外調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。12月21日にはスクールソーシャルワーカーの増員などを求めた中間報告を行い、事業費の増額に反映されました。また、3月21日には児童養護施設の子どもの自立支援などを求めた委員長報告を行うとともに、3月24日には知事への提言も行いました。</p>
<p>④特に調査・検討を要する重要課題 ・「子どもの貧困対策調査特別委員会」を平成28年5月16日に設置して、県内外調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。12月21日にはスクールソーシャルワーカーの増員などを求めた中間報告を行い、事業費の増額に反映されました。また、3月21日には児童養護施設の子どもの自立支援などを求めた委員長報告を行うとともに、3月24日には知事への提言も行いました。</p> <p>・「サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会」を平成28年5月16日に設置して、県内調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。9月15日にはポストサミットに係る意見などを中心とした中間報告を行い、新規事業に反映されました。また、3月21日には観光誘客や産業振興など5つの観点から委員長報告を行うとともに、3月24日には知事への提言も行いました。</p> <p>・「選挙区調査特別委員会」を平成28年5月16日に設置して、県内調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。平成29年5月18日には委員長から報告を行う予定です。</p> <p>・「三重県手話言語に関する条例検討会」を平成27年10月29日に設置して、有識者からの意見聴取や先進地視察など、条例の制定に向けた調査・検討を行いました。そのうえで、三重県手話言語条例(案)に対する意見募集(パブリックコメント)を行い、議員提出条例として上程し、6月30日に全会一致で議決しました。</p>	<p>④特に調査・検討を要する重要課題 県政の重要課題で、特に調査・検討を行うべき事項については、必要に応じて、特別委員会や附属機関、調査機関、検討会等を設置し、政策提言や政策立案を行います。</p>	<p>④特に調査・検討を要する重要課題 ・「子どもの貧困対策調査特別委員会」を平成28年5月16日に設置して、県内外調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。12月21日にはスクールソーシャルワーカーの増員などを求めた中間報告を行い、事業費の増額に反映されました。また、3月21日には児童養護施設の子どもの自立支援などを求めた委員長報告を行うとともに、3月24日には知事への提言も行いました。</p> <p>・「サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会」を平成28年5月16日に設置して、県内調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。9月15日にはポストサミットに係る意見などを中心とした中間報告を行い、新規事業に反映されました。また、3月21日には観光誘客や産業振興など5つの観点から委員長報告を行うとともに、3月24日には知事への提言も行いました。</p> <p>・「選挙区調査特別委員会」を平成28年5月16日に設置して、県内調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。平成29年5月18日には委員長から報告を行う予定です。</p> <p>・「三重県手話言語に関する条例検討会」を平成27年10月29日に設置して、有識者からの意見聴取や先進地視察など、条例の制定に向けた調査・検討を行いました。そのうえで、三重県手話言語条例(案)に対する意見募集(パブリックコメント)を行い、議員提出条例として上程し、6月30日に全会一致で議決しました。</p>

活動計画	実施状況
<p>⑤重点調査項目 6月に策定する年間活動計画において委員会ごとの重点調査項目を定め調査・審査を行います。</p> <p>⑥議員勉強会 議員の政策形成能力の向上を図るため、全議員を対象とする勉強会を開催します。</p>	<p>⑤重点調査項目 各常任委員会が作成する年間活動計画の中で定めた重点調査項目に基づいて、県内外調査を実施するなど、年間を通じて重点調査項目の調査・審査を行いました。</p> <p>⑥議員勉強会 第1回 平成28年 9月21日 テーマ：「子どもの貧困対策について」 道中 隆氏（関西国際大学教授） 第2回 平成28年 11月25日 テーマ：「手話の普及をめぐる現状と課題」 金澤 貴之氏（群馬大学教授） 第3回 平成29年 3月16日 テーマ：「女性の職業生活における活躍推進について」 権丈 英子氏（亜細亜大学副学長）</p>
<p>(2) 県民との関係～広聴広報～ ①議長定例記者会見 議会に係る情報発信を行うため、議長定例記者会見を月1回実施します。</p> <p>②広聴広報会議 効果的な広聴広報の取組について協議・調整するため、広聴広報会議を月1回程度開催します。</p>	<p>(2) 県民との関係～広聴広報～ ①議長定例記者会見 三重県議会10大ニュースなどを発表しました。 平成28年度開催実績：12回（就任記者会見を除く） ※平成29年2月から手話通訳を導入</p> <p>②広聴広報会議 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」の編集、「みえ県議会新聞」の編集、「みえ現場 de 県議会」の開催、「みえ県議会出前講座」の実施、「みえ高校生県議会」の開催、「傍聴者アンケート」の対応などについて、協議しました。また、三重県手話言語条例が平成29年4月から施行されることも踏まえ、平成29年度に代表・一般質問の中継映像への手話通訳挿入の試行を実施することを決定しました。 平成28年度開催実績：11回</p>

活動計画	実施状況
<p>ア みえ現場 de 県議会 多様な県民の意見を取り入れる広聴機能を強化し、議会で の議論に生かしていくため、県政の重要課題等を設定して、 関係団体や県民に広く参加を呼びかける「みえ現場 de 県議 会」を開催します。</p>	<p>ア みえ現場 de 県議会 平成 29 年 1 月 18 日 テーマ：「女性活躍の推進～中小企業の現場で～」(鈴鹿市) 【女性経営者等 6 人(うち公募 3 人)、議員 13 人】 【参考】 平成 29 年 3 月に津市内で開催された三重県中小企業レディース中央会との懇談会にも議 会として積極的に参加し、多くの女性の声を聴くよう努めました。</p>
<p>イ みえ高校生県議会 高校生の議会に対する関心を高めるとともに、高校生の意 見を議会での議論に反映していくため、「みえ高校生県議会」 を開催します。</p>	<p>イ みえ高校生県議会 高校生に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めるとともに、高 校生の意見を直接聴くことで議会での議論に反映していくことを目的に、下記のとおり開 催しました。また、インターネットの録画中継には手話通訳を挿入し、配信しました。 平成 28 年 8 月 19 日【高校生 52 人(16 校)、議員 19 人、知事、教育長】</p>
<p>ウ みえ県議会出前講座 学校からの申し込みを受けて、児童、生徒、学生に対して、 三重県議会の仕組み等を学校にむけて説明し、質疑応答を 行う「みえ県議会出前講座」を実施します。</p>	<p>ウ みえ県議会出前講座 学校からの申し込みを受けて、7 月 8 日から 2 月 21 日の間に、計 8 校 453 人の児童生徒 に対して、実施しました。実施後のアンケートでは、「とてもよかった・よかった」が 86% と肯定的な結果でした。なお、この内の 1 校は高校 3 年生の有権者を対象にしたもので選 挙権年齢引き下げ後、最初の有権者を対象とした出前講座になりました。</p>
<p>【委員会活動の振り返り】 議会活動の中心的な役割を果たす各常任委員会において、委 員会活動が「監視・評価・政策立案・政策提言」の充実に寄与 できたかという観点から、委員会(予算決算常任委員会の場合 は理事會)による自己評価を毎年行います。</p>	<p>【委員会活動の振り返り】 2 月定例会議会の際に、委員会活動の自己評価を行いました。 (別紙「委員会活動評価総括表」のとおり)</p>

## 主な平成28年度委員会活動の振り返りについて

### 1. 委員会活動の実績について

○年間活動計画に基づき計画的に活動できた。(予決、総地、健病、防県)

○県内外調査は、非常に有意義であった。

(予決、総地、戦雇、健病、防県、教警)

○委員会の意見を一部の執行部の計画等に反映できた。(予決、環農、教警)

### 2. 委員会活動の改善等について

○議員間討議において、必要なら正副委員長が課題を提起するなどして議論

を充実させてもよいのではないか。(予決、総地、健病)

○参考人招致を実施してもよかった。(総地、戦雇、環農)

## 予算決算常任委員会活動評価総括表（平成28年度）

### 1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

#### (1) 年間活動計画の進捗度

計画していたものは予定通り行い、それ以外にも県外調査や参考人招致が追加されるなど、全体として適切に進められた。  
各分科会で十分に審議でき、全体会などに発言の機会があり充実していた。

#### (2) 委員会運営の円滑度

十分な審査、調査を実施し、委員長報告も各委員が合意できたものであった。  
総括質疑の進行については委員長が午前、副委員長が午後と分けたことを次期に引き継いでもいいのではないかと、副委員長が進行中に委員長が在席できないことはどうにかならないものか。  
成果レポートについての意見を申し入れを行った。  
総括質疑の際、質疑者は演題の後ろに待機席がある方がいい。  
総括質疑の順番は多数派の順になっているが、後半だと質疑内容が重なる場合があり、やり方を次期の方で検討してもいいのではないかと。その際、同一派が昼休みで分断するのは好ましくないが、午前の隙間の時間に少数党派が質疑を行うやり方がある。

#### (3) 議員間討議の充実度

各分科会で議論してきたものもあり、難しいところがある。  
議員間討議は意見書や請願の採択は会派によって意見が分かれたりして大いに議論が行われることがあるが、通常の議案審査について議員間討議が少ないのはやむを得ない。必要ならば、正副委員長が発言を誘導するとよい。

#### (4) 県内外調査の充実度

勉強になり、大変よかった。  
茨城県の取組はマニアックな部分もあったが、参考にしてほしい。三重テラスを財政の観点で調査するのは初めてであり、予算をかけることの意味については議論ができたことはよかった。

#### (5) 県民など多様な意見を参考にした調査・審査の充実度

県外調査の説明者を参考人招致し、全議員で学ぶことができよかった。  
参考人招致の適切な実施時期については、次期の課題としてほしい。  
国の骨太方針が実施時期に、その考えについての参考人招致を行うと、翌年度予算の議論に生かすことができいいと思う。日程として難しいかもしれないが、案として申し送りをしてほしい。

#### (6) 調査・審査結果の施策への反映

調査・報告や成果レポートなど意見に対する反映は一定あった。しかし、他会計からの繰り入れなど奇策な手法を取らずに知恵を出すよう意見を述べたことに対して、施策へ反映がされなかったことは残念だが、議会からも提言ができなかったもので、それが力不足であり反省点である。

2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	<p>年間活動計画の内容は適切なものでしたか。                      重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。                      年間活動計画に沿って委員会活動をいたしましたか。                      (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・先議案件も適切に対応できた。                      ・当初活動計画に重点調査項目は設定しなかったが、県外調査や参考人招致を追加実施するとともに、突発的な先議議案等についてその都度対応するなど、適切であった。</p>	4.1
(2)委員会運営の円滑度	<p>すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。                      委員会で十分な議論をしましたか。                      委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。                      (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・委員長、副委員長の議事進行と自治法上のクリアをすべき点。                      ・総括質疑における正副委員長が交代する方式を恒常的なしくみにするための規定を検討されたい。                      ・委員長報告や成果レポートは、委員会や分科会での意見等を総括的に適宜・適切に反映させ、知事に申し入れを行った。総括質疑を正副委員長の分割運営(午前・午後)で実施し、その充実を図った。</p>	4.0
(3)議員間討議の充実度	<p>議員間討議の機会を十分に活用しましたか。                      議員間討議を十分に行いましたか。                      議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。                      (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・分科会においての充実が重要なので特にいい。                      ・議論を二分するような案件がなかったことで、討議の機会が少なかった。                      ・本年度も議論を二分するような案件がなかったこと。また、各分科会において詳細に慎重審議されたからの本委員会での議論となることから、討論の時間を設けたが行われなかった。</p>	2.9
(4)県内外調査の充実度	<p>県内外調査の調査先は適切でしたか。                      調査先で十分な調査を実施しましたか。                      県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。                      (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・三重テラスに行けたのは良かった。                      ・総務省(地方財政計画)、茨城県(資金調達手法)とも大変参考になった。                      ・県外調査の時期をもう少し早くできると予算調製方針等に反映できうる。                      ・総務省:地方財政をめぐる情勢や財源確保に向けた国の考え方など。三重テラス:県財政の視点からの調査。茨城県:資金調達の多様化の取り組み等の調査。など、その後の調査・審査に活用できた。</p>	4.1

項目	評価の視点	平均点
<p>(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度</p>	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。  「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。  「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。  「請願」「議員勉強会」「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。  (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外調査が参考人招致に結びついた。</li> <li>・県外調査で学んだ茨城県における資金調達手法について全委員参加の勉強会を実施して良かった。</li> <li>・「骨太の方針」が出される夏頃から参考人の選定を行ない、秋に実施すると予算・決算の議論により反映できうる。</li> <li>・県外調査の実績を活かした参考人招致を実施した。今後の調査・審議の参考となった。一層この種の調査を有効的に活用できるよう、定例的な年間活動計画との調整を図り、開催時期を検討すべき。</li> </ul> <p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p>	3.8
<p>(6) 調査・審査結果の施策への反映</p>	<p>・厳しい財政への提言が弱い。  ・成果レポート等への反映。  ・知事への申し入れとして「臨時収入に依存しない財政運営の転換」をH29年度当初も実現できなかった。議会としても一歩踏み込んだ提言ができなかつたことも要因と考えられる。  ・予算・決算の観点から総合的な調査・審査等を行い、委員会として当局に要望した事項等については極めて厳しく深刻な県財政の中にあっても一定程度の反映はできた。</p>	

※評価は5点満点です。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかつた)  
※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。





総務地域連携常任委員会活動評価総括表（平成28年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- (1) 年間活動計画の進捗度、委員会運営の円滑度
  - ・委員会活動はほぼ計画通り進み、委員会運営も円滑に進めることができた。
  - ・臨機応変に対応でき、良い委員会だった。
- (2) 委員間討議の充実度
  - ・委員間討議は対立する意見が出れば活発になるだろうが、あまり活発にできていないのが現状である。
  - ・本委員会に限らず、あまたの場合などに、意見を出しやすき雰囲気になれば、おのずと議論は活発になると思う。
  - ・本委員会は様々な会派で構成されており、多様な意見を取り込める素地があったため、議論がそれぞれで積極的に進められてきた。
  - ・正副委員長が課題を抽出して、各委員に議論を促す形にしてみても良かっただろう。
- (3) 県内外調査の充実度
  - ・県内外調査は、議論に反映できる場所を選んだため、その調査結果を踏まえて発言・提案を行うことができた。
  - ・スポーツ選手に関する調査のために四日市中央工業高校へ行くなど、様々な場所へ足を運んだため、参考人招致をせずとも、自ら現場に意見を聴きに行くことができた。
  - ・県内外調査では、委員から積極的に質問したり熱い議論を行ったりすることができた。
  - ・参考人招致は行なわなかったが、余裕があれば良かった。

2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1) 年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 「ワーク・ライフ・マネジメント」から「働き方改革」への議論の進化ができなかったように思う。	4.3
(2) 委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会ですべての議論を尽くしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 各委員の発言を促し、それらを的確に委員長報告等に反映していただけた。	4.3

項目	評価の視点	平均点
(3) 議員間討議の充実度	<p>議員間討議の機会を十分に活用しましたか。          議員間討議を十分に行いましたか。          議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。          (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・議員間討議となるような論点を、正副委員長から提示していただけたとより良かった。          ・委員間討議をする必要がなかった。</p>	3.4
(4) 県内外調査の充実度	<p>県内外調査の調査先は適切でしたか。          調査先で十分な調査を実施しましたか。          県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。          (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・大変有意義な調査先を選んでいた。現場の生の声をその現場で聴けたことは良かった。</p>	4.6
(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。          「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。          「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。          「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。          (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>「ワーク・ライフ・バランス」を含めた県庁の働き方改革について、提言をしたコンサルタントの参考人招致をするなど、総務部の取組にかかる外部意見等の把握にもう少し力を入れると良かった。</p>	3.8
(6) 調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>・特に意見の多かった移住促進と地籍調査対策の充実について平成29年度当初予算等への確に反映できたと考える。          ・平成28年版成果レポートに基づき今後の「県政運営」等に係る意見で申し入れた。</p>	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

戦略企画雇用経済常任委員会活動評価総括表（平成28年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・有識者などの参考人招致の機会を作ってもよかった。
- ・県外調査が参考となりとてもよかった。
- ・特に、来場相談件数を右上がりに伸ばしているビジネス支援センター「富士市産業支援センター f-Biz」と、妊娠・出産を経て復帰した後も活躍し続けられる土壌を作っている企業「株式会社シータス&ゼネラルプレス」が参考になりとてもよかった
- ・「みえ現場de県議会（女性活躍の推進）」でいただいた参加者の意見は、雇用経済部関係の調査に生かせるものだった。

2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動をしましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.8
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	4.0
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	2.9
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	4.5

項目	評価の視点	平均点
(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」「議員勉強会」「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出案例の検討を行ったなど)について記載してください。</p>	3.1
(6) 調査・審査結果の施策への反映	<p>委員会意見の相当部分が反映したと評価している。</p>	

※評価は5点満点です。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかった)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

環境生活農林水産常任委員会活動評価総括表（平成28年度）

- 1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）
- ・ 高校生県議会では本委員会所管の質問があったため、委員長が答弁し、後に委員会の場でその報告を行った。
  - ・ 委員長が町村会及び町村議会議長会からの要望を受け、後に委員間で共有した。
  - ・ 委員長報告だけでなく、成果レポートに関する知事の申し入れを行った。
  - ・ 特に、太陽光パネル設置についての提言は、今後の施策に反映されていくと考える。
  - ・ コウナゴの不漁などに関する調査の際に、地元漁師を委員会に参考人として招致するなどして現場の声を聴けば、議論がさらに充実するのではないか。

2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	<p>年間活動計画の内容は適切なものでしたか。</p> <p>重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。</p> <p>年間活動計画に沿って委員会活動をを行いましたか。</p> <p>(その他、評価の理由等(自由記載))</p>	3.9
(2)委員会運営の円滑度	<p>すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。</p> <p>委員会ですべての議論を尽くしましたか。</p> <p>委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。</p> <p>(その他、評価の理由等(自由記載))</p>	4.0
(3)議員間討議の充実度	<p>議員間討議の機会を十分に活用しましたか。</p> <p>議員間討議を十分に行いましたか。</p> <p>議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。</p> <p>(その他、評価の理由等(自由記載))</p>	2.7
(4)県内外調査の充実度	<p>県内外調査の調査先は適切でしたか。</p> <p>調査先で十分な調査を実施しましたか。</p> <p>県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>[ ・ 内容等には課題はないと思うが、議会議費全体の削減議論もある中、日数の見直しは必要では。 ]</p>	4.0
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>[ 参考人招致や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 ]</p> <p>[ みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 ]</p> <p>[ みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 ]</p> <p>[ 請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 ]</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p>	3.0

項目	評価の視点	平均点
(6)調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>・信号機等の設置についての取組が、他委員会とも連携して進んだことは良かった。ソーラー開発についての里山保全環境面での要求はもっと強めても良かった。</p>	

※評価は5点満点です。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかつた)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

健康福祉病院委員会活動評価総括表（平成28年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・重点調査項目にしたがって、十分に調査・審査を行うことができた。
- ・内容が難しいものがあり、事前に学習する機会を設けて中身を理解した上で、共通課題を持って議論した方がよかった。
- ・議員間討議については、必要がある項目かどうかはあるが、充実させられなかった。
- ・県内外調査は重点調査項目に準じて行い大変よかった。

2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動をしましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 ・年間活動計画に沿って、内容ある活動ができた。 〕	4.3
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したもとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 〕	4.1
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 ・議員間討議を十分には活用できなかった。 〕	2.6
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 〕	4.5
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	〔 参考人招致〕や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 〔 見え現場の県議会〕における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 〔 みえ高校生県議会〕における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 〔 請願、議員勉強会〕、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) 〔 〕	3.8

項目	評価の視点	平均点
(6)調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国児学園の環境整備に関して、県内調査の結果として意見を申し入れ、施策に反映することができた。</li> <li>・みえ家庭教育応援プランについて、子ども条例の理念を反映するよう求め実現した。</li> <li>・地域医療構想について、多くの意見を出し、県民のみなさんの思いをくみとって丁寧に進めていただけでなく反映させることができた。</li> <li>・平成28年版成果レポートにおいて、助産師の総数確保と偏在是正について、第二次行動計画への記載を求め、反映することができた。</li> </ul>	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。



# 防災県土整備企業常任委員会活動評価総括表（平成28年度）

## 1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・年間活動計画どおり活動ができた。
- ・県内外調査は、適時適切な調査が行えた。「三重県版タイムライン（仮称）」の調査の参考となった。
- ・特に、紀宝町のタイムラインの調査は、現場を確認することで「三重県広域受援計画（仮称）」の調査の参考となった。
- ・また、熊本地震の調査は、現場を確認することで、執行部の認識の確認ができた。
- ・消防団などの重要な課題について話をして、執行部の認識の確認などができた。
- ・東海環状自動車道などの基幹道路についても、開通前の状況や道路ネットワークの構築などの確認などができる。
- ・「新三重県建設産業活性化プラン（仮称）」について議論し、執行部も委員会での意見の反映に努めている。
- ・入札制度に関しては明瞭性がない部分があり、次期委員会でも引き続き調査が必要である。
- ・RDF焼却・発電事業については明瞭性ができているのか疑問であり、次期委員会でも引き続き調査が必要である。
- ・インフラ整備が抑制されているが、整備しないことで将来に負の遺産を残すことももあり得るので、状況を見極めながら、老朽化対策や防災対策などに取り組んでいくべきであり、次期委員会でも引き続き調査が必要である。

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	4.1
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会です十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	4.4
(3)委員間討議の充実度	委員間討議の機会を十分に活用しましたか。 委員間討議を十分に行いましたか。 委員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.8
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	4.6

項目	評価の視点	平均点
(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>[ ]</p> <p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>[ ]</p>	3.6
(6) 調査・審査結果の施策への反映		

※評価は5点満点です。(5点…大変良くてきた、4点…良くてきた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかった)

※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

教育警察常任委員会活動評価総括表（平成28年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・交通安全施設等の更新については、今年度も委員長報告を行い、予算増額など一定の前進が見られたが、今後はそれがどのような安全につながったのかを当委員会で調査していく必要もあるのではないかと。今後の課題としては、センターラインの摩擦への対応や交通事故多発地帯への対応などが考えられる。
- ・防災対策・防災教育については、重点調査項目の一つであったが、十分に調査を行うことができなかつたところもあり、次年度以降も取り組んでいきたい。
- ・次期の県立高等学校活性化計画については、県内外調査も含めて十分に調査し、委員長報告も行うなどしっかりと活動し、委員会での意見も反映することもできた。
- ・学力・体力の向上についても、県内調査などを通じてしっかりと具体的な調査をすることができた。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	<p>年間活動計画の内容は適切なものでしたか。                      重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。                      年間活動計画に沿って委員会活動をしましたか。                      （その他、評価の理由等（自由記載））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育の部分がやや弱かった。</li> <li>・防災対策・防災教育については不十分であったかもしれない。</li> <li>・防災対策・防災教育についての県内外調査を今後実施していくべき。</li> </ul>	3.6
(2)委員会運営の円滑度	<p>すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。                      委員会で十分な議論をしましたか。                      委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。                      （その他、評価の理由等（自由記載））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察が行使する「権力」へのチェックが不十分。</li> </ul>	4.1
(3)委員間討議の充実度	<p>委員間討議の機会を十分に活用しましたか。                      委員間討議を十分に行いましたか。                      委員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。                      （その他、評価の理由等（自由記載））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外調査・高校生県議会などの内容について討議を活用できた。</li> </ul>	3.9
(4)県内外調査の充実度	<p>県内外調査の調査先は適切でしたか。                      調査先で十分な調査を実施しましたか。                      県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。                      （その他、評価の理由等（自由記載））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期県立高等学校活性化計画の策定の議論に特に役立てることができた。</li> <li>・県立水産高校（実習船）は特色のある県立高校としてしっかりと認識を深められた。</li> <li>・高校活性化、学力と体力の向上などしっかりと調査できた。</li> </ul>	4.0

項目	評価の視点	平均点
(6) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」「議員勉強会」「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>〔 高校生県議会については、予算議論にも役立てることができた。</p> <p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>・「交通安全施設の整備」「次期県立高等学校活性化計画(仮称)」については特に委員長報告をとりまとめ、来年度予算や次期計画へ大いに反映して頂いた。</p> <p>・運転免許センターへの看護師配置について、検討しているとの答弁。(長崎県警での調査)</p> <p>・交通安全施設の整備や更新について</p> <p>・特殊詐欺対策(自動通話録音警告機)</p> <p>・重点項目についてほぼ実施。</p> <p>・交通安全対策等協議内容およびそれを受けての委員長報告が来年度予算に反映された。</p>	3.6

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良かったです、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。